

各 位

会 社 名 三菱製鋼株式会社
代表者名 取締役社長 佐藤 基行
(コード番号5632)
問合せ先 広報・IR部長 細谷 光明
(TEL. 03-3536-3118)

子会社の商号変更及び開所式実施に関するお知らせ

当社の子会社である、MSM CEBU, INC. (フィリピン セブ州 ラプラブ市) は、同社のマニラ工場稼働により、2020年4月1日より、商号を「MSM Philippines Mfg. Inc.」に変更することといたしました。

また、マニラ工場におきまして、自動車用巻ばねの生産・販売の開始に合わせ、工場開所式を現地時間12月9日同工場内において執り行いました。

同工場では、2018年6月20日公表いたしました「ASEAN地域におけるばね事業進出に関するお知らせ」の通り、MSM CEBU, INC. の保有する旧 MSM MANILA, INC. の建屋を活用し、顧客の現地調達化ニーズに対応するため、自動車用巻ばね及び精密ばねの製造を行うことといたしました。当社の自動車用巻ばねの製造拠点としては、アセアン地区初の拠点となります。

既に精密ばねの製造を行っており、需要が集積するルソン島南部での生産増強を図っておりますが、今般、自動車用巻ばねの生産設備導入が完了いたしました。

開所式には、フィリピン経済区庁 (PEZA) 関係者をはじめ、フィリピン国内及び日本からの取引先など多くのお客様にご出席いただき、当社からは佐藤社長、山尾取締役 (営業本部長)、山口取締役 (事業企画部担当)、村田ばね営業部長ら、総勢約80名が出席しました。

開所式では、関係者によるテープカット、工場見学等を実施し、祝賀会において挨拶に立った佐藤社長は、MSM CEBU, INC. 及び MSM MANILA, INC. の沿革を説明され、「近年のフィリピン国内におけるOA機器業界、自動車産業や新たな産業の拡大と現地調達化ニーズにあわせ、一旦は閉鎖した当工場を復活させることができた。所在地と社名の相違により生じる混乱から今回商号を変更することとした。フィリピンと全てのパートナーに対して、ベストを尽くしていく」と述べられました。

1. 12月9日 マニラ工場開所式次第

- (1) 開会
- (2) テープカット
- (3) 工場見学
- (4) 祝賀会
 - ①ご挨拶 三菱製鋼株式会社 取締役社長 佐藤 基行
 - ②ご来賓祝辞
 - ③一本締め 三菱製鋼株式会社 取締役 山尾 明
 - ④閉会

2. 会社概要

(1) 名 称	MSM Philippines Mfg. Inc. (2020年4月1日より)
(2) 本 社 所 在 地	5th St. PEZA-Mactan, Pusok, Lapu-Lapu City, Mactan Island Cebu, Philippines
(3) マニラ工場所在地	#5 Mountain Drive LISP II, Bo.Real Calamba City, 4027 Laguna, Philippines
(4) 代 表 者	安達 茂雄
(5) 事 業 内 容	自動車用巻ばねの製造・販売 精密ばね及び組立品の製造・販売
(6) 資 本 金	24,000 千フィリピンペソ
(7) 設 立	2000年8月プレジジョンスプリング(株)の海外工場PSKセブを100%子会社化 (2004年7月社名をMSM CEBU, INC.に変更)
(8) 出 資 比 率	当社100%

以 上